６４Series　Console Dataset
Ver3.00 以上
取扱説明書

東洋電機製造株式会社

目次

１．概要

本ｿﾌﾄは、弊社ｲﾝﾊﾞｰﾀ製品 VF/ED ｼﾘｰｽﾞ（VFC2004,ADS を除く）のﾃﾞｰﾀ設定を PC 上で行うもので、設定値を一括設定できるほか、ｲﾝﾊﾞｰﾀに設定されているﾃﾞｰﾀを読み込み、表示し、それを印刷することができます。

また、読み込んだﾃﾞｰﾀを保存し、いざという時のﾊﾞｯｸｱｯﾌﾟに役立ちます。

２．動作環境

・Windows95 以降

・RS232C－USB 変換ｱﾀﾞﾌﾟﾀ使用を推奨

３．Ver2.70 以前と Ver3.00 の変更点について

・ROM 選択方法の変更

Ver2.70 以前は ROM ﾊﾞｰｼﾞｮﾝを選択する際にﾌﾟﾙﾀﾞｳﾝを使用していましたが、今回から、より操作性の良い“ﾎﾟｯﾌﾟｱｯﾌﾟﾒﾆｭｰ”に変更しました。

・項目の追加

新たに「設定範囲」の項目を追加しました。これによりﾏﾆｭｱﾙを参照する手間が省けます。

・ｺﾝﾍﾟｱ機能

異なるﾌｧｲﾙの設定値を比較し、互いに異なる値の場合は‘＊’ﾏｰｸで表示します。

・小数点位置、有効桁数ﾁｪｯｸ

設定値を入力する際、入力した値の小数点位置、有効桁数が正しいかﾁｪｯｸします。

・ｴﾗｰﾒｯｾｰｼﾞのｴﾘｱ指定

ﾃﾞｰﾀをｲﾝﾊﾞｰﾀにﾛｰﾄﾞする際に、設定値が範囲外の場合は通信ﾛｸﾞに記述されます。
L,N,O ｴﾘｱについては選択形式に変更しました。

・印刷のｴﾘｱ指定

印刷したい範囲をｴﾘｱ別に選択できます。

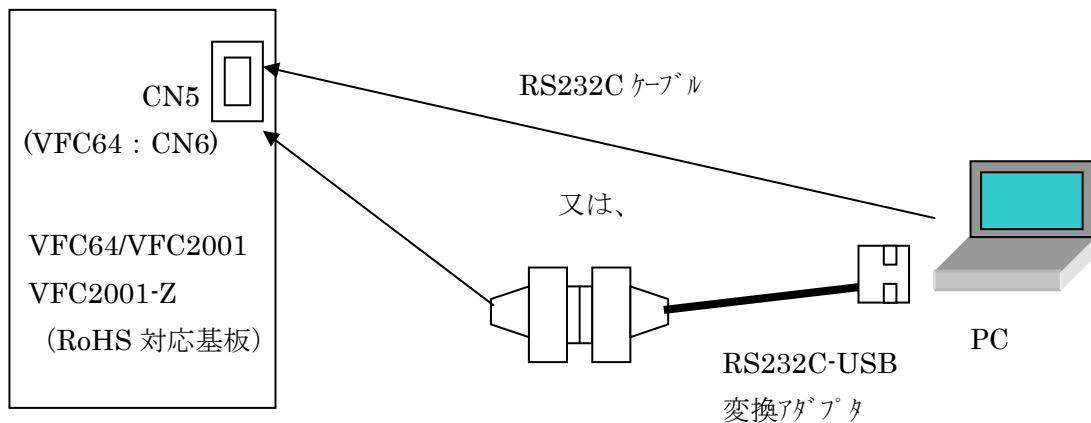
・ｽﾃｰﾀｽﾊﾞｰの表示

設定値を変更した際、ｽﾃｰﾀｽﾊﾞｰに変更した“ｴﾘｱ名”が表示されます。

・ﾌｧｲﾙｵｰﾌﾟﾝﾚｽ

ｲﾝﾊﾞｰﾀからﾃﾞｰﾀをﾛｰﾄﾞした際に今まではﾌｧｲﾙを開く操作をしていましたが、今回よりﾃﾞｰﾀ転送終了後、自動でﾃﾞｰﾀを表示します。

４．接続方法

・VFC64/VFC2001/VFC2001-Z(RoHS 対応基板)

・VFC64SDS/SDS2005

※コネクタ部参照

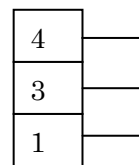
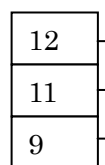
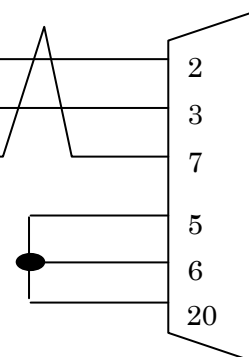



図１　接続図

※ｲﾝｽﾄｰﾙについて

ｲﾝｽﾄｰﾙする際は、CD 表紙裏に記載されているｼﾘｱﾙ番号を正しく入力し、指示に従ってそのままお進みください。

※設定値について

設定値に関する詳細は、お持ちの機種の「ｲﾝﾃﾘｼﾞｪﾝﾄｲﾝﾊﾞｰﾀ取扱説明書第３章」をご覧下さい。

５．画面説明

・ﾒｲﾝ画面

ｿﾌﾄ起動後このﾒｲﾝ画面（図２）が表示されます。詳細は下記に記します。

図２　ﾒｲﾝ画面

① ﾂｰﾙﾊﾞｰ

ﾂｰﾙﾊﾞｰの詳細を表１に示します。

表１　ﾂｰﾙﾊﾞｰ一覧

ﾂｰﾙﾊﾞｰ	ﾒﾆｭｰ	機能
ﾌｧｲﾙ	新規作成	ﾌｧｲﾙを新規に作成
	開く	保存ﾌｧｲﾙを開く
	上書き保存	編集中の既存ﾌｧｲﾙを保存
	名前を付けて保存	新規ﾌｧｲﾙの保存/既存ﾌｧｲﾙのﾌｧｲﾙ名変更保存
	閉じる	編集中のﾌｧｲﾙを閉じる
	ﾌｧｲﾙｺﾝﾍﾟｱ	二つのﾌｧｲﾙの設定値を比較
	印刷	表示されている設定値の印刷
	終了	ｿﾌﾄの終了
実行	ﾃﾞｰﾀ読み込み	ｲﾝﾊﾞｰﾀから設定値を読み込む
	ﾃﾞｰﾀ書き込み	ｲﾝﾊﾞｰﾀに設定値を書き込む
ｵﾌﾟｼｮﾝ	通信設定	ﾎﾟｰﾄの設定
	通信ﾛｸﾞ参照	前回ｲﾝﾊﾞｰﾀへの書き込みを行った時のｴﾗｰﾒｯｾｰｼﾞ
	ｲﾝﾊﾞｰﾀ変更	ｲﾝﾊﾞｰﾀのROMﾊﾞｰｼﾞｮﾝ変更
言語	日本語	日本語で表示
	英語	英語で表示
ﾍﾙﾌﾟ	ﾊﾞｰｼﾞｮﾝ情報	ｿﾌﾄについての詳細

② ﾌｧｲﾙ名

現在表示しているﾌｧｲﾙのﾌﾙﾊﾟｽ名が表示されます。

③ ｲﾝﾊﾞｰﾀ情報

選択した機種名、制御ﾓｰﾄﾞ、ｲﾝﾊﾞｰﾀ容量、ROM ﾊﾞｰｼﾞｮﾝを表示します。

④ ｼｮｰﾄｶｯﾄﾎﾞﾀﾝ

頻繁に使用するﾒﾆｭｰの一部をこのﾎﾞﾀﾝによって実行できます。

⑤ 項目

「設定ｴﾘｱ」：ｴﾘｱ名と番号を表示します。

「ﾀｲﾄﾙ」：設定ｴﾘｱに対する項目を表示します。

「設定範囲」：設定可能な範囲を表示します。

「ﾃﾞﾌｫﾙﾄ値」：初期設定値が表示されます。

「設定値」：現在設定されている値が表示されます。

「小数点位置」：小数点以下の桁数を整数で表示します。

（例）設定値１７．３４５の時の小数点位置は“３”となります。

「有効桁数」：小数点、ﾏｲﾅｽ符合を除いた整数の有効桁数を表示します。

（例）　○　設定値：１７２．２３　小数点位置：2　有効桁数：5

　　　　×　設定値：１７２２．３　小数点位置：2　有効桁数：5

６．ﾌｧｲﾙ

・新規作成

「新規作成」をｸﾘｯｸすると図３のｳｨﾝﾄﾞｳが表示されます。「ｲﾝﾊﾞｰﾀ変更」時も同じです。
①機種 ②制御ﾓｰﾄﾞ ③ｲﾝﾊﾞｰﾀ容量・電圧 ④ROM ﾊﾞｰｼﾞｮﾝの順に選択していきます。
ROM ﾊﾞｰｼﾞｮﾝを選択しないと “OK” ﾎﾞﾀﾝを押すことは出来ません。

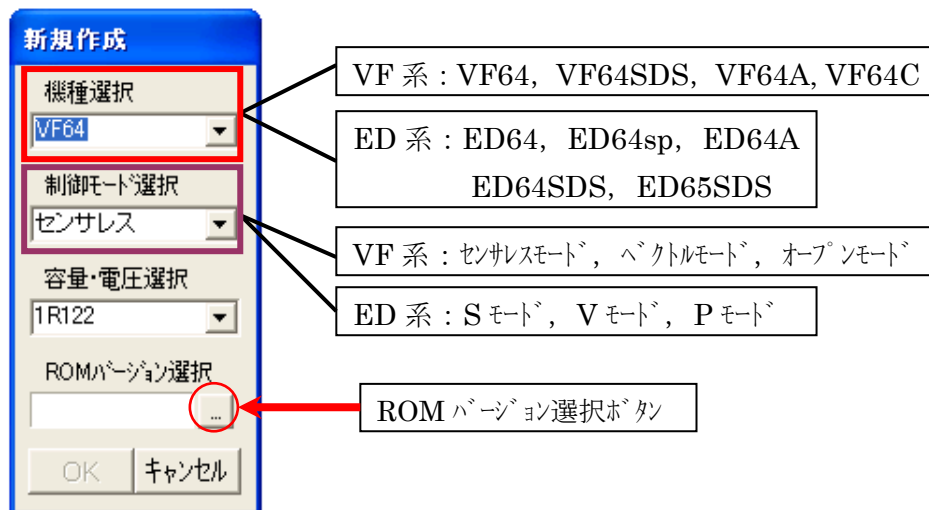



図３　選択画面

ROM ﾊﾞｰｼﾞｮﾝ選択ﾎﾞﾀﾝをｸﾘｯｸすると下図の様なﾒﾆｭｰが表示されるので ROM ﾊﾞｰｼﾞｮﾝを選択してください。

図４　ROM ﾊﾞｰｼﾞｮﾝ選択画面

・開く

保存していた CSL ﾌｧｲﾙを開きます。ｸﾘｯｸすると「ﾌｧｲﾙを開く」ｳｨﾝﾄﾞｳが表示されますのでﾌｧｲﾙを選択してください。

・上書き保存

「開く」で開いたﾌｧｲﾙを編集し、ﾌｧｲﾙ名を変更せずに保存します。

・名前を付けて保存

現在開いているﾌｧｲﾙを保存します。ｸﾘｯｸすると「名前を付けて保存」ｳｨﾝﾄﾞｳが表示されますので、ﾌｧｲﾙ名を入力し保存してください。拡張子は “.csl” となります。

・閉じる

現在表示されているﾌｧｲﾙを閉じます。

・ﾌｧｲﾙｺﾝﾍﾟｱ

二つの異なるﾌｧｲﾙ（現在開いているﾌｧｲﾙと他のﾌｧｲﾙ）を比較します。

比較して設定値が互いに異なる場合は判定欄に”＊”が表示されます。(図５参照)。
手順は、一方のﾌｧｲﾙを開いておき、「ﾌｧｲﾙ」－「ﾌｧｲﾙｺﾝﾍﾟｱ」でもう一方のﾌｧｲﾙを「ﾌｧｲﾙを開く」ｳｨﾝﾄﾞｳから選択します。(編集中であればそのﾌｧｲﾙを保存し、「ﾌｧｲﾙ」－「閉じる」でひとまずﾌｧｲﾙを閉じてください。)

但し、機種・制御ﾓｰﾄﾞ・ROM ﾊﾞｰｼﾞｮﾝが一致していないと比較できません。また、印刷はできますが**設定値の変更、保存は出来ません。**印刷時、互いに値が違う場合は比較値のすぐ横に“＊”が印刷されます。

ﾃﾞﾌｫﾙﾄ値	設定値	比較ﾌｧｲﾙ値	判定
0	1111	1112	*
24	120	120	
-24	-24	-24	
30.0	34.5	34.5	
30.0	30.0	30.2	*
0.3	0.3	0.2	*

図５　ﾌｧｲﾙｺﾝﾍﾟｱ画面

・印刷

ﾊﾟﾗﾒｰﾀを印刷します。図６が印刷設定画面です。“ﾌﾟﾘﾝﾄｴﾘｱ指定”欄で選択したｴﾘｱのﾊﾟﾗﾒｰﾀが印刷されます。また、“All check”を選択すると図６の様に全て選択され全ｴﾘｱのﾊﾟﾗﾒｰﾀを印刷します。(“All check”を選択後“Clear”に表示が変わります。)

図６　印刷設定画面

・終了

“ｺﾝｿｰﾙﾃﾞｰﾀｾｯﾄ”を終了します。

７．実行

・ﾃﾞｰﾀ読み込み

ｲﾝﾊﾞｰﾀから設定ﾃﾞｰﾀを読み込みます。ｸﾘｯｸすると図７が表示されますので「実行」ﾎﾞﾀﾝをｸﾘｯｸして下さい。ﾒｯｾｰｼﾞ欄に“start !!”と表示されます。読み込みが正常に終了されるとﾒｯｾｰｼﾞ欄に“end !!”“ﾌｧｲﾙ名”ReadData.csl”でｾｰﾌﾞしました。”と加えて表示されます。

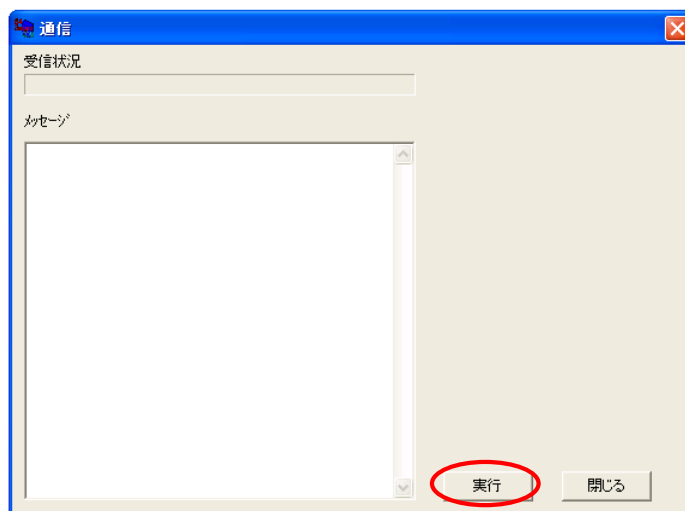



図７　ﾃﾞｰﾀ読み込み画面

【ｴﾗｰﾒｯｾｰｼﾞが表示された場合は…】

「″Comm Port Open Error!!!″」

・　ﾎﾟｰﾄの設定があっているか確認してください。

「″タイムアウトエラーです″」

・基板に電源が入っているか確認してください。

・ｹｰﾌﾞﾙが指定したｺﾈｸﾀに接続されているか、または、基板からｹｰﾌﾞﾙが外れていないか確認してください。

・ﾃﾞｰﾀ書き込み

編集した設定値をｲﾝﾊﾞｰﾀに書き込みます。ｸﾘｯｸすると図８の画面が表示されます。

「実行」ﾎﾞﾀﾝをｸﾘｯｸするとﾒｯｾｰｼﾞ欄に“start!!”と表示され、確認ﾒｯｾｰｼﾞｳｨﾝﾄﾞｳが表示されますので「OK」をｸﾘｯｸしてください。

書き込みが正常に終了するとﾒｯｾｰｼﾞ欄に“end !!”“通信ﾛｸﾞﾌｧｲﾙ名は”writelog.txt“です。”と加えて表示されます。

ｵﾌﾟｼｮﾝ：ﾌﾟﾘﾝﾄ基板を初期化及び基板交換したときの再調整時に使用してください。

ﾒｯｾｰｼﾞ：設定値にｴﾗｰがあるとﾒｯｾｰｼﾞが表示されます。

表示ｵﾌﾟｼｮﾝ：通常は Fund～J ｴﾘｱまでのﾒｯｾｰｼﾞが表示されますが、L, N, O ｴﾘｱを使用した場合は、使用したｴﾘｱにﾁｪｯｸを入れて実行してください。

書き込みｴﾘｱ指定：書き込みたいｴﾘｱの開始ｴﾘｱ名と最終ｴﾘｱ名が選択できます。

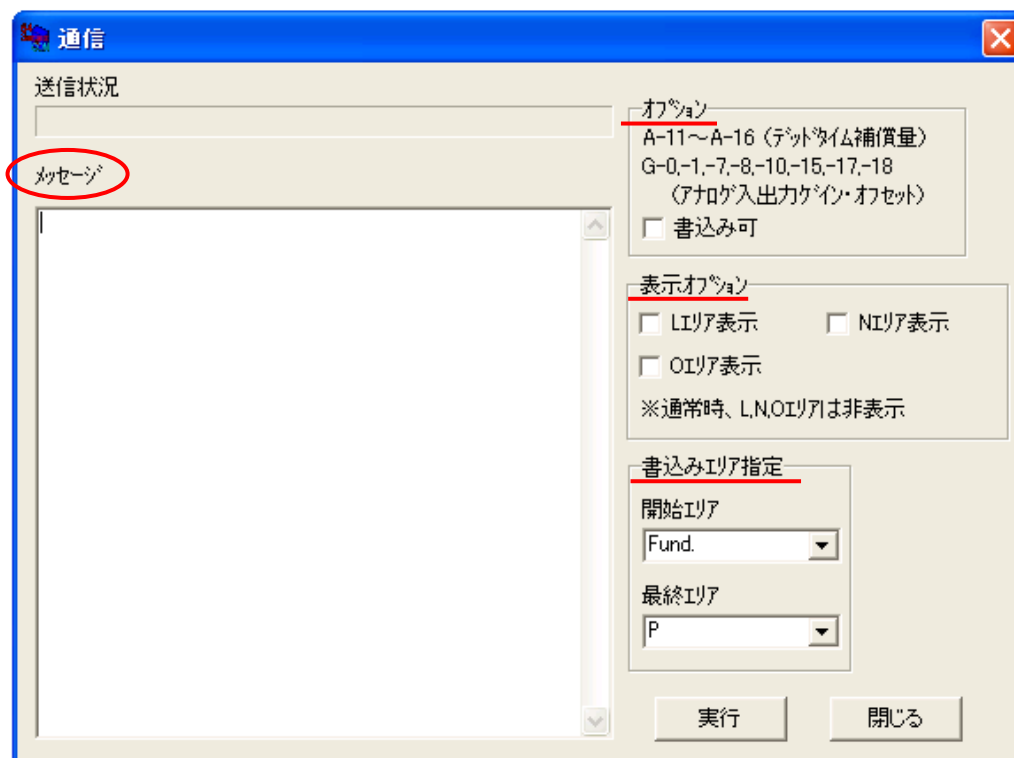



図８　ﾃﾞｰﾀ書き込み画面

【ｴﾗｰﾒｯｾｰｼﾞが表示された場合は…】（ﾃﾞｰﾀ読み込みを参照してください。）

・基板とﾊﾟｿｺﾝをつなぐｹｰﾌﾞﾙが外れていないか確認してください。
・ﾎﾟｰﾄの設定があっているか確認してください。
・基板に電源が入っているか確認してください。
・ｹｰﾌﾞﾙが指定したｺﾈｸﾀに接続されているか確認してください。

８．ｵﾌﾟｼｮﾝ

・通信設定

　ﾃﾞｰﾀ送受信時に使用する COM ﾎﾟｰﾄの設定を行います。読み込み/書き込みを行う前に必ず設定してください。図９が設定画面です。

　COM ﾎﾟｰﾄを設定する際は必ずｳｨﾝﾄﾞｳｽﾞﾒﾆｭｰ・ｺﾝﾄﾛｰﾙﾊﾟﾈﾙのﾃﾞﾊﾞｲｽﾏﾈｰｼﾞｬでﾎﾟｰﾄ番号を確認してから選択して下さい。

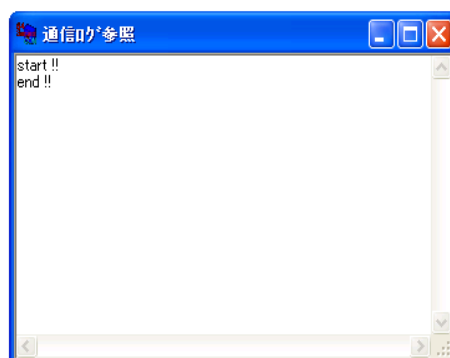
図９　通信設定画面

（注）“書き込みｳｪｲﾄ時間設定”の変更は、ﾃﾞｰﾀ書き込み時のﾒｯｾｰｼﾞ欄に「VFC64 が EEPROM 書き込み中でした。」と表示された時に設定値を大きくしてください。

・通信ﾛｸﾞ参照

　通信ﾛｸﾞ“writelog.txt”を再度参照する時に使用します。実行すると図１０の画面が表示されます。通信ﾛｸﾞには前回通信時の内容が表示されます。

図１０　通信ﾛｸﾞ参照画面

・ｲﾝﾊﾞｰﾀ変更

　現在の設定値を他の ROM ﾊﾞｰｼﾞｮﾝに適用するときに使用します。操作方法は「新規作成」時と同じです。ROM ﾊﾞｰｼﾞｮﾝのみ変更してください。（一部変更できない組み合わせがあります。）

９．言語

・日本語/英語

表示される言語を設定します。「日本語」と「英語」を表示することができます。

初期設定値は「日本語」になっています。

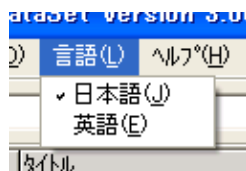



図１１　言語選択画面

１０．ﾍﾙﾌﾟ

・ﾊﾞｰｼﾞｮﾝ情報

本ｿﾌﾄについての情報（ﾊﾞｰｼﾞｮﾝ）、使用者について表示されます（図１２）。

Version は本ｿﾌﾄのﾊﾞｰｼﾞｮﾝを指し、Serial No.はｲﾝｽﾄｰﾙ時のｼﾘｱﾙ番号です。

File Version は現在のﾊﾟﾗﾒｰﾀﾃｰﾌﾞﾙﾌｧｲﾙ（ｿﾌﾄの表示に必要なﾌｧｲﾙ）のﾊﾞｰｼﾞｮﾝです。

図１２　ﾊﾞｰｼﾞｮﾝ情報画面

１１．ﾒｯｾｰｼﾞ対応について

・「入力が間違っています」
⇒設定値欄に整数以外の文字を入力した可能性があります。

・「有効桁数が異なります」
⇒入力した値が有効桁数（最大５桁）を超えて入力された可能性があります。

・「小数点位置が異なります」
⇒表示されている小数点位置と入力した値の小数点位置が異なっている可能性があります。

・「設定値が最高値を超えています。'A-0'設定値以下にしてください。」
⇒入力値が A-0 を超えると表示されます。

・「設定値が最低値を下回っています。'A-1'設定値以上にしてください。」
⇒入力値が A-1 を下回ると表示されます。

・「設定値が最高値を超えています。'A-1'設定値以上にしてください。」
⇒入力値が負の場合で A-1 より下回っていると表示されます。

・「最低値が最高値以上になっています。設定値を'A-0'より小さくしてください。」
⇒A-1 の値が A-0 の値を超えると表示されます。

・「この電圧・容量での ROM ﾊﾞｰｼﾞｮﾝ変更はできません。」
⇒変更する前と後のﾊﾞｰｼﾞｮﾝ間で容量ﾃｰﾌﾞﾙが異なり、存在しない容量を設定した時に表示されます。

・「ﾌｧｲﾙを比較することが出来ません。」
⇒ﾌｧｲﾙｺﾝﾍﾟｱ時に、機種、制御ﾓｰﾄﾞ、容量、ROM ﾊﾞｰｼﾞｮﾝのいずれかが一致していないため表示されます。

１２．ｱｯﾌﾟﾃﾞｰﾄﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑについて

本ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑは弊社制御基板（VFC 基板）の ROM ﾊﾞｰｼﾞｮﾝが追加で発行された時、Ver2.70 以前のｿﾌﾄの場合では追加した ROM ﾊﾞｰｼﾞｮﾝに対応したﾊﾟﾗﾒｰﾀﾃｰﾌﾞﾙﾌｧｲﾙが無いと、その ROM を使用している基板のﾊﾟﾗﾒｰﾀを表示・編集・保存の操作をすることが出来ず、ﾊﾞｰｼﾞｮﾝｱｯﾌﾟしたｿﾌﾄを再ｲﾝｽﾄｰﾙする必要がありました。今回、その様な手間を省いた Ver3.00 をﾘﾘｰｽしました。

ﾕｰｻﾞｰ自身でｿﾌﾄの更新（ﾊﾟﾗﾒｰﾀﾃｰﾌﾞﾙﾌｧｲﾙのｱｯﾌﾟﾃﾞｰﾄ）を可能にした点が、今回改良したﾎﾟｲﾝﾄです。よって、ｿﾌﾄを更新する際はこのｱｯﾌﾟﾃﾞｰﾄﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑを下記の通りに実行してください。

１．まず、ｺﾝｿｰﾙﾃﾞｰﾀｾｯﾄ本体を終了してください。その後 Project1.EXE をﾀﾞﾌﾞﾙｸﾘｯｸしてください。起動すると図１が表示されます。

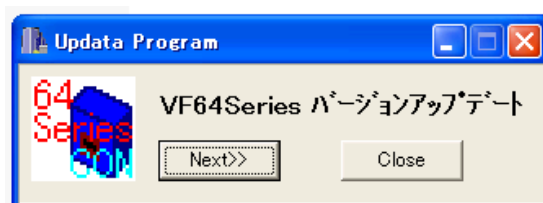



図１３　ｽﾀｰﾄ画面

２．「Next＞＞」をｸﾘｯｸしますと図２の様な画面が表示されます。

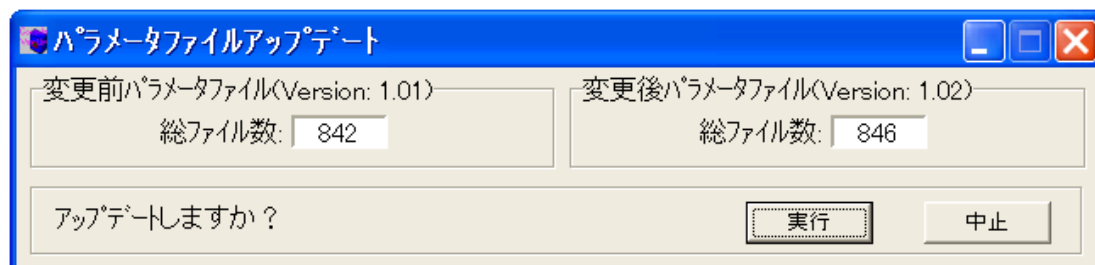



図１４　実行画面例

左側に変更前の現在のﾊﾟﾗﾒｰﾀﾌｧｲﾙﾊﾞｰｼﾞｮﾝと総ﾌｧｲﾙ数を示します。
右側に変更後のﾊﾟﾗﾒｰﾀﾌｧｲﾙﾊﾞｰｼﾞｮﾝと総ﾌｧｲﾙ数を表示します。

３．「実行」をｸﾘｯｸすると図３のﾒｯｾｰｼﾞが表示されますので「すべて上書き」を選択してください。

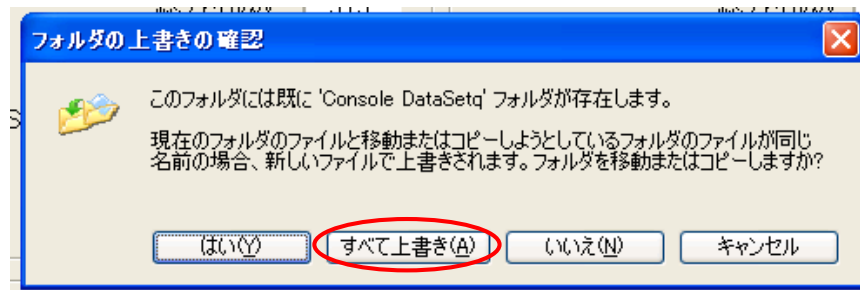



図１５　ﾒｯｾｰｼﾞ画面

４．ﾃﾞｰﾀｺﾋﾟｰが完了すると図４のﾒｯｾｰｼﾞが表示されます。

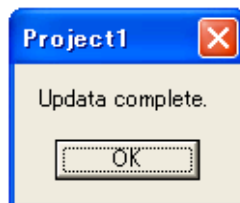



図１６　ﾒｯｾｰｼﾞ画面

５．これでｱｯﾌﾟﾃﾞｰﾄ完了です。「Close」で終了してください。

ｺﾝｿｰﾙﾃﾞｰﾀｾｯﾄを起動し、「ﾍﾙﾌﾟ」－「ﾊﾞｰｼﾞｮﾝ情報」で“FileVersion”が、図１４での“Version”値と同じか確認してください。

以上

東洋電機製造株式会社

http://www.toyodenki.co.jp/

本　社	東京都中央区京橋二丁目 9-2（第一ぬ利彦ビル） 産業事業部　TEL.03(3535)0652～5　FAX.03(3535)0660,0664	〒104-0031
大阪支社	大阪市北区角田町 1-1（東阪急ビル） TEL.06(6313)1301　FAX.06(6313)0165	〒530-0017
名古屋支社	名古屋市中村区名駅三丁目 14-16（東洋ビル） TEL.052(541)1141　FAX.052(586)4457	〒450-0002
北海道支店	札幌市中央区大通西 5-8（昭和ビル） TEL.011(271)1771　FAX.011(271)2197	〒060-0042
九州支店	福岡市博多区博多駅南一丁目 3-1（日本生命博多南ビル） TEL.092(472)0765　FAX.092(473)9105	〒812-0016
台北支店	台北市民権東路 6 段 308 號 4 樓 TEL.886-2-2632-3260,3262　FAX.886-2-2632-3251	
仙台営業所	仙台市青葉区五橋一丁目 5-25 TEL.022(711)7589　FAX.022(711)7590	〒980-0022
横浜営業所	横浜市神奈川区鶴屋町二丁目 13-8（第一建設ビル別館） TEL.045(313)4030　FAX.045(313)4041	〒221-0835
広島営業所	広島市中区宝町一丁目 15（宝町ビル） TEL.082(249)7250　FAX.082(249)7188	〒730-0044
沖縄営業所	沖縄県中頭郡嘉手納町字屋良 1022 TEL.FAX.098(956)7314	〒904-0202

本資料の記載内容は、予告なく変更することがあります。ご了承下さい。

サービス網

東洋産業株式会社

http://www.toyosangyou.co.jp/

本　社	東京都千代田区東神田 1 丁目 10-6(幸保第二ビル) TEL 03(3862)9371　FAX 03(3866)6383	〒101-0031
大阪支店	大阪市淀川区西中島 4 丁目 7-4(新大阪生原ビル) TEL 06(6307)8181　FAX 06(6307)8185	〒532-0011
横浜支店	横浜市神奈川区鶴屋町 2 丁目 13-8(第一建設ビル別館) TEL 045(324)2356　FAX 045(324)3731	〒221-0835
名古屋営業所	名古屋市中村区名駅3丁目 14-16(東洋ビル) TEL 052(541)1150　FAX 052(586)4457	〒450-0002
九州駐在	福岡市博多区博多駅南 1 丁目 3-1（日本生命博多南ビル） TEL 092(413)6951　FAX 092(473)9105	〒812-0016
北海道営業所	札幌市中央区大通西5-8(昭和ビル) TEL 011(251)5611　FAX 011(271)2197	〒060-0042

2007-05 発行
QG18152B